

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

解 答 用 紙 (化 学) その 1
(理 工 学 部)

1 (1)

問 1

ア	イ
蒸発	凝縮

問 2

①

問 3

①

問 4

②

問 5

計算過程

ガラス管の移動前後で、真空部分の水蒸気の圧力は等しいので、

$$p \Delta V = \Delta nRT$$

と書ける。したがって、

$$\Delta n = p\Delta V/RT$$

$$= psh/1000RT \text{ [mol]}$$

よって、増加した水分子の個数 = $pshN_A/1000RT$

増加した水分子の個数

$$pshN_A/1000RT$$

(2)

問 1

ア	イ	ウ
価電子	自由電子	金属結合

問 2

性質1

金 属 光 沢 が あ る

性質2

電 気 を よ く 通 す

問 3

A	B
2	4

問 4

C	D	E
$4\pi r^3/3$	$4\sqrt{3}r/3$	$2\sqrt{2}r$

問 5

F	G
$\sqrt{3}\pi/8$	$\sqrt{2}\pi/6$

採 点 欄	
1	

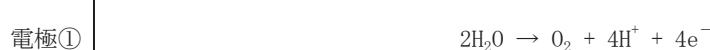
氏名

受験
番号

解 答 用 紙 (化 学) その2
(理 工 学 部)

2

(1) 問 1



問 2

電子の物質量	電流値
0.010 mol	2.5 A

問 3

計算過程

電気分解前の Cu^{2+} の物質量 : 0.050 mol

電気分解後の電極②で析出した銅の物質量 : 0.0050 mol

従って、電気分解後の Cu^{2+} のモル濃度は、 $(0.050 - 0.0050) \text{ mol} / (0.10 \text{ L}) = 0.45 \text{ mol/L}$

モル濃度

0.45 mol/L

問 4

計算過程

電極④で発生した H_2 の物質量: 0.0050 mol従って、27 °C, $1.01 \times 10^5 \text{ Pa}$ における H_2 の体積は、
 $0.0050 \text{ mol} \times 22.4 \text{ L/mol} \times (300/273) = 0.123 \dots \text{ L}$

体積

0.12 L

(2) 問 1

ア

溶解

問 2

A

 $[\text{Ag}^+] [\text{Cl}^-]$

B

 $[\text{Ag}^+]^2 [\text{CrO}_4^{2-}]$

問 3

計算過程

両溶液を混合すると、全体の体積は2 mLになるので、 $[\text{Ag}^+]$ と $[\text{Cl}^-]$ の各イオンのモル濃度は半分になる。硝酸銀水溶液のモル濃度をxとすると、
 $[\text{Ag}^+] = x/2$ である。 $[\text{Cl}^-] = (8.0 \times 10^{-7})/2 \text{ mol/L} = 4.0 \times 10^{-7} \text{ mol/L}$
 より、混合後の各イオンのモル濃度の積は、
 $[\text{Ag}^+] [\text{Cl}^-] = x/2 \times 4.0 \times 10^{-7} \text{ mol/L} = 2.0 \times 10^{-10} (\text{mol/L})^2$ が導かれる。
 したがって、 $x = 1.0 \times 10^{-3} \text{ mol/L}$

モル濃度

 $1.0 \times 10^{-3} \text{ mol/L}$

問 4

 K_{sp2} の値 K_{sp2} の単位 4.0×10^{-12} $(\text{mol/L})^3$

問 5

化学式

名称

AgCl

共通イオン効果

採 点 欄

2

氏名

受験
番号

解 答 用 紙 (化 学) その3
(理 工 学 部)

3

(1) 問 1

ア	イ	ウ	エ	オ
酸素	硫黄	炭素	窒素	塩素

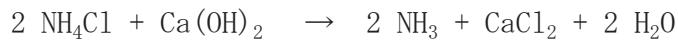
問 2

無極性	非共有電子対が3組
$\begin{array}{c} \text{H} \\ \\ \text{H}-\ddot{\text{C}}-\text{H} \\ \\ \text{H} \end{array}$	$\text{H}-\ddot{\text{C}}\text{l}:$

問 3

①	②	③	④
b	a	e	b

問 4



問 5

A)	B)	C)
④	④	③

(2) 問 1

A	$4 \text{ NH}_3 + 5 \text{ O}_2 \rightarrow 4 \text{ NO} + 6 \text{ H}_2\text{O}$
---	---

B	$2 \text{ NO} + \text{O}_2 \rightarrow 2 \text{ NO}_2$
---	--

C	$3 \text{ NO}_2 + \text{H}_2\text{O} \rightarrow 2 \text{ HNO}_3 + \text{NO}$
---	---

問 2

	$\text{NH}_3 + 2 \text{ O}_2 \rightarrow \text{HNO}_3 + \text{H}_2\text{O}$
--	---

問 3

アンモニア	一酸化窒素	二酸化窒素	硝酸
-3	+2	+4	+5

問 4 計算過程

$$\frac{1.38 \text{ g/cm}^3 \times 1000 \text{ cm}^3 \times 0.60}{63 \text{ g/mol} \times 1 \text{ L}} = 13.1 \dots \text{ mol/L}$$

モル濃度

13 mol/L

問 5

(あ)	(い)
④	①, ⑤

採 点 欄

3

氏名

受験
番号

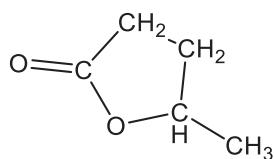
解 答 用 紙 (化 学) その 4
(理 工 学 部)

4

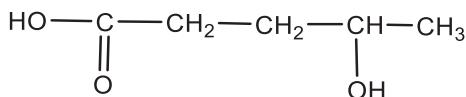
(1) 問 1



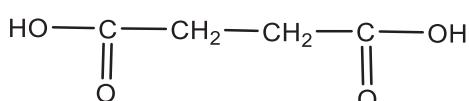
問 2 化合物 A



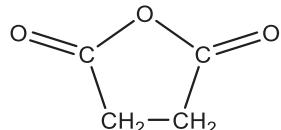
化合物 B



問 3 化合物 C



化合物 D



問 4 1) 答えに至る過程

$$\frac{55.2}{12} : \frac{8.0}{1} : \frac{36.8}{16} = 4.6 : 8.0 : 2.3 \\ \approx 2 : 3.5 : 1 = 4 : 7 : 2$$

よって、化合物Fの組成式はC₄H₇O₂

式量は12×4+7+16×2=87

分子量が174なので、組成式を2倍したものが分子式となる。

∴ 化合物Fの分子式は C₈H₁₄O₄

分子式



2)



(2) 問 1

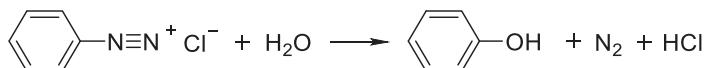
ア	イ	ウ
アニリン塩酸塩	ニトロベンゼン	アニリンブラック
エ	オ	カ
アセトアニリド	亜硝酸ナトリウム	ジアゾカップリング

問 2

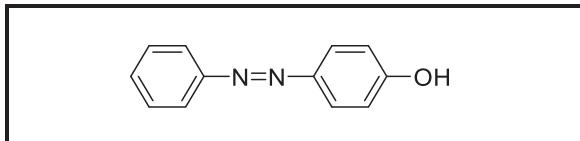
A	B
③	①

水	酸	化	ナ	ト	リ	ウ	ム	の	方
が	ア	ニ	リ	ン	よ	り	も	強	い

問 4



問 5



採 点 欄

4

氏名

受験
番号

解 答 用 紙 (化 学) その5
(理 工 学 部)

5

問 1

A	B
$\frac{[Y][H^+]}{[X^+]}$	$\frac{[Z^-][H^+]}{[Y]}$
C	D
$\frac{K_1}{[H^+]}$	$\frac{K_1 K_2}{[H^+]^2}$

問 2

1)

陽イオン X ⁺	双性イオン Y	陰イオン Z ⁻
$\begin{array}{c} CH_3 \\ \\ H_3N^+-C-H-COOH \end{array}$	$\begin{array}{c} CH_3 \\ \\ H_3N^+-C-H-COO^- \end{array}$	$\begin{array}{c} CH_3 \\ \\ H_2N-C-H-COO^- \end{array}$

2)

C	D	3)
5.0×10^8	1.0×10^{10}	陽極

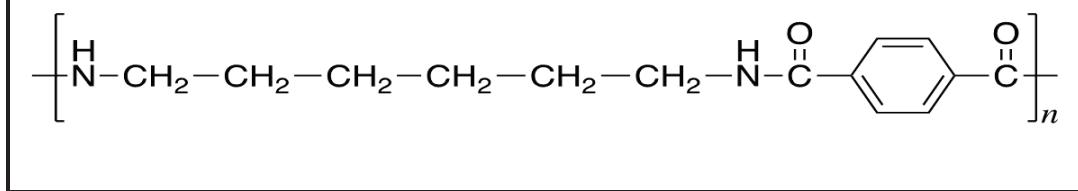
選 択 欄

採 点 欄

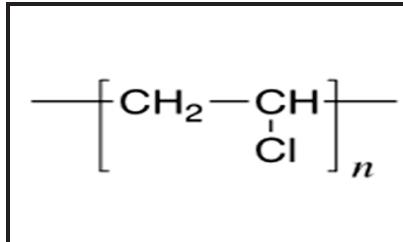
5	
---	--

6

問 1



問 2



問 3

②

問 4 1)

 1.0×10^4

2)

5.4 g

問 5

②

選 択 欄

採 点 欄

6	
---	--